

- 問1 室町時代の京都では、幕府が土倉（金融業者）や酒屋から税を徴収して大きな収入を得ていました。このような背景の中、京都の豊かな商工業者たちが団結し、応仁の乱のあとの復興や町の運営を自治的に行った組織または人々を何と呼びますか。 （2020年 徳島県公立入試 類似）
1. 座 2. 惣 3. 問丸 4. 町衆
- 問2 室町時代後期の1467年に始まり、その後約11年間にわたって続いた「応仁の乱」が起きた背景や原因の説明として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. キリスト教の信仰を禁じる江戸幕府の政策や過酷な年貢の取り立てに対し、九州の領民が武装して蜂起した。
2. 鎌倉幕府を倒した後の天皇中心の政治に対し、足利尊氏が武家政治の再興を求めて挙兵した。
3. 将軍の跡継ぎ問題に加え、細川氏や山名氏といった有力な守護大名の勢力争いが結びついた。
4. 平氏による政治の独占に不満を持った源頼朝が、東国の武士をまとめて全国的な内乱へと発展させた。
- 問3 15世紀から16世紀に琉球王国が中継貿易の中心地として発展できた背景として、明との関係に基づいた理由として正しいものはどれですか。 （2019年 広島県公立入試 類似）
1. 明から派遣された軍隊が琉球を統治したことで、東南アジア全域の貿易ルートを強制的に琉球へ集約させたため。
2. 明から輸入した生糸や陶磁器を、琉球国内で高度な技術を用いて加工し、付加価値を高めてから輸出する体制が整っていたため。
3. 明が日本や東南アジア諸国との貿易を全面的に自由化した際、琉球が最も早く近代的な港湾設備を整えたため。
4. 明に対して朝貢を行い、正式な外交関係を維持することで、明の産物を優先的に入手し他国へ転売する権利を得ていたため。
- 問4 足利義満によって本格化した日明貿易において、明から日本側へ与えられた「勘合」を用いた貿易の形式と背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）
1. 幕府が発行した「御朱印状」を携帯することで、東南アジア各地の港へ入港を許可された。
2. 日本国王として明の皇帝に臣下の礼をとり、貢ぎ物を捧げる「朝貢貿易」の形式であった。
3. 日本の朝廷が主体となり、明の皇帝と対等な立場で経済的利益のみを追求した。
4. 長崎の出島において、オランダ船と同様に厳しい制限下で行われた直接貿易であった。
- 問5 室町時代から戦国時代にかけて、和泉国（現在の大阪府）に位置し、日明貿易（勘合貿易）の拠点として栄えた港町について説明します。この都市は、強力な経済力を背景に、周囲に堀を巡らせるなどして武士の支配を退け、豪商たちが自ら運営を行いました。このような特徴を持つ都市を次の中から選びなさい。 （2021年 京都府公立入試 類似）
1. 神戸 2. 堺 3. 下関 4. 横浜
- 問6 室町時代、三代将軍の足利義満によって港湾の整備が行われ、日明貿易（勘合貿易）における瀬戸内海側の重要な拠点となった摂津国の港町はどこですか。 （2024年 福井県公立入試 類似）
1. 兵庫 2. 博多 3. 堺 4. 敦賀
- 問7 室町時代から戦国時代にかけて、現在の大阪府に位置し、日明貿易や日朝貿易の拠点として栄えた都市の説明として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 岐阜県公立入試 類似）
1. 一向宗（浄土真宗）の門徒たちが中心となり、巨大な寺院を囲むように形成された寺内町であった。
2. 会合衆（えごうしゅう）と呼ばれる有力な商人たちが、自分たちで町を運営する自治都市であった。
3. 年行司（ねんぎょうじ）と呼ばれる有力な商人たちが、九州における貿易の拠点として自治を行った。
4. 室町幕府によって直轄地とされ、守護大名が商業活動を厳格に管理する軍事拠点であった。
- 問8 室町幕府の成立過程において、足利尊氏を支援した功績が認められ、豊前や豊後といった九州地方の国の守護に任命された有力な武士の一族を選びなさい。 （2020年 神奈川県公立入試 類似）
1. 島津氏 2. 北条氏 3. 大友氏 4. 龍造寺氏
- 問9 室町時代の商業組織である「座」が、公家や寺社などの権力者に税を納めていた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2026年 山形県公立入試 類似）
1. 幕府による徳政令から自分たちの債権を守るための軍事力を借りるため
2. 商品の販売における独占権を得たり、関所の通行税を免除されたりするため
3. 海外貿易に必要な大型船を建造するための資金提供を仰ぐため
4. 全国一律の新しい通貨を発行し、商取引の混乱を防ぐため
- 問10 室町時代に行われた、明の皇帝に対して日本が朝貢（贈り物を届ける）する形式をとった貿易について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2021年 静岡県公立入試 類似）
1. 長崎の出島において、オランダや清の商人と限定的に行われた。
2. 平清盛が兵庫の港を整備して、積極的に利益を得ようとした。
3. 勘合という札を用いて、倭寇と正式な貿易船を区別して行われた。
4. 朱印状という渡航許可証を持った船が、東南アジア諸国と取引した。
- 問11 室町幕府の政治体制について、最高職である管領の説明として最も適切なものはどれですか。 （2021年 和歌山県公立入試 類似）
1. 北条氏が世襲でその職に就き、実権を握って将軍に代わり政治を行った。
2. 足利氏の一門である細川・斯波・畠山の三氏が交代で任命され、将軍を補佐した。
3. 九州地方の軍事や警察、外交を統括するために設置された地方の長官である。
4. 有力な譜代大名の中から複数が選ばれ、月番交代で幕政を運営した。
- 問12 室町時代の文化と建造物について述べた次の文のうち、東山文化とその建立者に関する説明として正しいものはどれですか。 （2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. 足利尊氏が建立した天龍寺は、後醍醐天皇の菩提を弔うために建てられたものである。
2. 足利義政が建立した銀閣は、大陸との貿易による富を背景に、外壁に銀箔を貼った豪華な装飾が特徴である。
3. 足利義満が建立した金閣は、公家文化と武家文化が融合した北山文化の代表的な建築物である。
4. 足利義政が建立した銀閣は、1階に書院造を取り入れるなど、武士の生活様式と禅宗の影響が融合している。
- 問13 当時の記録である『大乗院日記目録』には、農民たちが「天下の徳政」を叫んで蜂起し、質物などを奪い取った様子が記されています。このとき、農民たちが借金の帳消しを求めて襲撃した、当時の中世社会において金融業を営んでいた施設として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 蔵元や札差 2. 寺社や公家 3. 問屋や座 4. 酒屋や土倉